深川市の財政事情

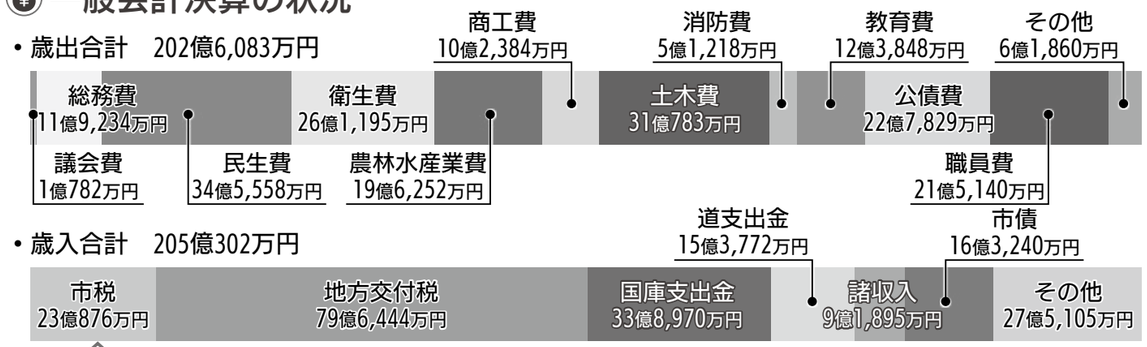
市では、財政の状況を市民のみなさんに理解してもらうため、条例に基づき年に2回財政の状況を公表しています。2回目の今回は、令和7年度決算の概要と令和8年度予算の執行状況などをお知らせします。

令和7年度決算の概要

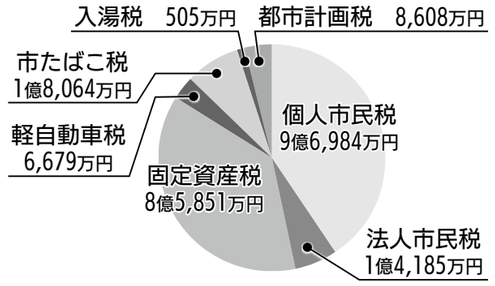
市の一般会計と3特別会計を合わせた令和7年度決算の歳入決算額は261億4893万円、歳出決算額は258億3745万円で、差し引き3億1148万円の黒字となり、翌年度に繰り越した事業に充てる874万円を差し引いた実質的な黒字は3億274万円となりました。このうち一般会計の令和7年度決算の歳入決算額は205億302万円、歳出決算額は202億6083万円で、差し引き2億4219万円の黒字となり、翌年度に繰り越した事業に充てる874万円を差し引いた実質的な黒字は2億3345万円となりました。

令和7年度決算の健全化判断比率等、道内各市と比較した場合、本市の財政状況は依然として厳しい状況にあり、令和8年度においても、限られた財源の中で、より一層の効率的な執行と経費の節減に努め、財政の健全性の維持に努めます。

一般会計決算の状況



市税の内訳



市民1人当たりでは

一般会計歳出額	基金残高	市税負担額	市債残額
1,151,800円	191,400円	131,200円	1,715,900円

議会費	6,100円	土木費	176,700円
総務費	67,800円	消防費	29,100円
民生費	196,400円	教育費	70,400円
衛生費	148,500円	公債費	129,500円
農林水産業費	111,600円	職員費	122,300円
商工費	58,200円	その他	35,200円

▲令和8年3月31日現在の人口(17,591人)を基に算出

費用の使い道



- **議会費**　議会運営など
- **総務費**　市の総務管理など
- **民生費**　高齢者対策や児童福祉など
- **衛生費**　市民の健康や環境の保全など
- **農林水産業費**　農林業の振興や生産基盤整備
- **商工費**　商工業や観光の振興
- **土木費**　道路や公園、市営住宅などの整備
- **消防費**　消防や防災など
- **教育費**　小中学校の運営や生涯学習の推進
- **公債費**　借入金の返済
- **職員費**　市職員の給与など
- **その他**　災害復旧など

令和7年度各会計決算状況

項目		最終予算額	歳入	歳出	差引残高
一般会計		213億3,624万円	205億　302万円	202億6,083万円	2億4,219万円
特別会計	介護保険	25億3,214万円	25億3,016万円	24億7,603万円	5,413万円
	国民健康保険	27億1,200万円	26億3,701万円	26億2,269万円	1,432万円
	後期高齢者医療	4億8,595万円	4億7,874万円	4億7,790万円	84万円
	計	57億3,009万円	56億4,591万円	55億7,662万円	6,929万円
合計		270億6,633万円	261億4,893万円	258億3,745万円	3億1,148万円

財産の状況

▼各基金の現金保有額(令和7年度末現在)

基金の名称	金額
財政調整基金	13億4,885万円
減債基金	2億9,936万円
公共施設整備基金	4億7,927万円
人材育成基金	5,045万円
社会福祉振興基金	1,690万円
ふるさと応援基金	1億7,067万円
その他(12基金)	10億　227万円
合計	33億6,777万円

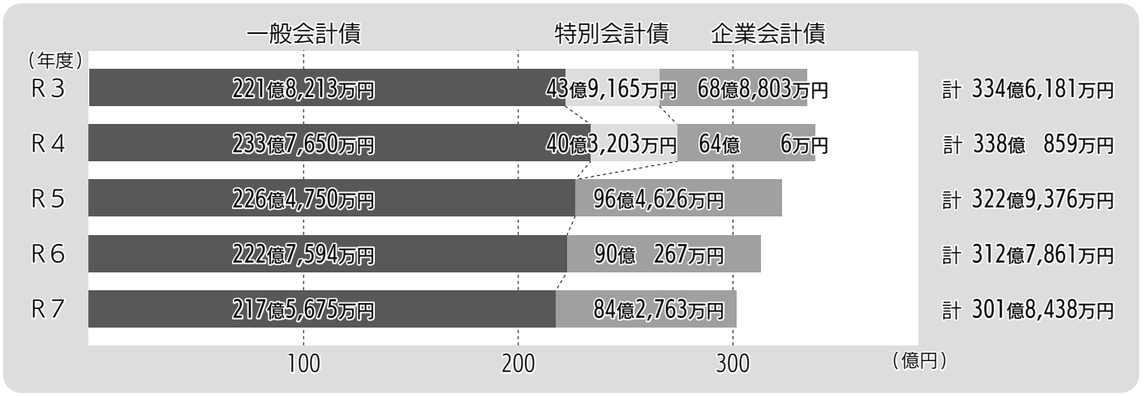
※基金とは一般家庭の預貯金に当たるものです。
　このうち一般会計が保有する積立基金は26億8,106万円です。

▼その他の財産の保有状況(令和7年度末現在)

区分	数量	説明
土地	3,048万117㎡	施設用地・山林など
建物	20万7,700㎡	市役所庁舎・学校・体育館などの建物
物権	12万9,537㎡	地上権
有価証券	1,530万円	株券
出資金	2,076万円	関係団体等出資金
債権	1億370万円	長期貸付金など
物品	69台	車両

市債の年度末残高の状況

❖市債の推移



分かりやすい決算書

　市の決算を分かりやすく説明した、令和7年度「深川市の今年のしごと一決算編一」を市役所と各支所で閲覧できます。また、希望する方に配布しますので、税務財政課財政係に連絡してください。
　市のホームページにも掲載しています(「深川市の今年のしごと」で検索してください)。





予算や決算、財政運営に関する問合先
税務財政課財政係
(31番窓口／☎26-2622)

水道事業会計

令和7年度事業の概況

配水管の新設や道路改良事業に伴う移設工事などを施工し、配水管網の整備と給水サービスの向上を図り、安定した水の供給に努めました。

- **給水人口**　17,127人（市民全体の97.4%）
- **給水戸数**　8,784戸
- **年間総配水量**　187万3,274㎥（一日平均　5,132㎥）

令和7年度決算の状況

収益的収支で680万円の純損失が生じ、前年度繰越欠損金7億4,387万円と合算し、7億5,067万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。また、資本的収支の不足分は、過年度分損益勘定留保資金5,520万円で補てんしました。

収益的収支決算額

収入	5億1,532万円
支出	5億2,212万円
差引	▲680万円

資本的収支決算額

収入	8,224万円
支出	1億3,744万円
差引	▲5,520万円

令和8年度予算の執行状況（8月31日現在）

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	7億2,550万円	2億3,106万円	31.8%
支出	6億4,240万円	1億3,713万円	21.3%

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	1億5,390万円	0万円	0%
支出	2億2,110万円	63万円	0.3%

※決算額に消費税および地方消費税は含みません が、執行状況は税込額となっています。

▼健全化判断比率の対象

会計の区分			実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率	資金不足比率
深川市の会計	一般会計		○	○	○	○	
	特別会計	介護保険 国民健康保険 後期高齢者医療		○	○	○	
	公営企業会計	水道 市立病院 下水道		○	○	○	○
一部事務組合・広域連合		消防組合 衛生センター組合 空知教育センター組合 広域水道企業団 廃棄物処理広域連合 学校給食組合			○	○	
公社・第3セクターなど		振興公社など				○	

※「○」が比率の対象となる会計。「資金不足比率」は会計ごとで算定する。

◀下水道事業会計、病院事業会計、用語解説については、次のページに続きます。



令和8年度予算の執行状況

令和8年度各会計予算の執行状況は、9月末までの実績で一般会計と特別会計の合計で歳入39.8%、歳出37.7%の執行率となっており、複合施設整備事業・市営住宅・道路などの事業が進められています。

▼令和8年度各会計予算の執行状況（9月30日現在）

項目		予算額	歳入	執行率	歳出	執行率
一般会計		214億4,533万円	85億2,419万円	39.7%	80億8,778万円	37.7%
特別会計	介護保険	25億3,541万円	12億1,098万円	47.8%	10億3,570万円	40.8%
	国民健康保険	27億7,600万円	9億8,471万円	35.5%	10億3,113万円	37.1%
	後期高齢者医療	5億2,600万円	1億4,621万円	27.8%	1億3,591万円	25.8%
	計	58億3,741万円	23億4,190万円	40.1%	22億　274万円	37.7%
合計		272億8,274万円	108億6,609万円	39.8%	102億9,052万円	37.7%

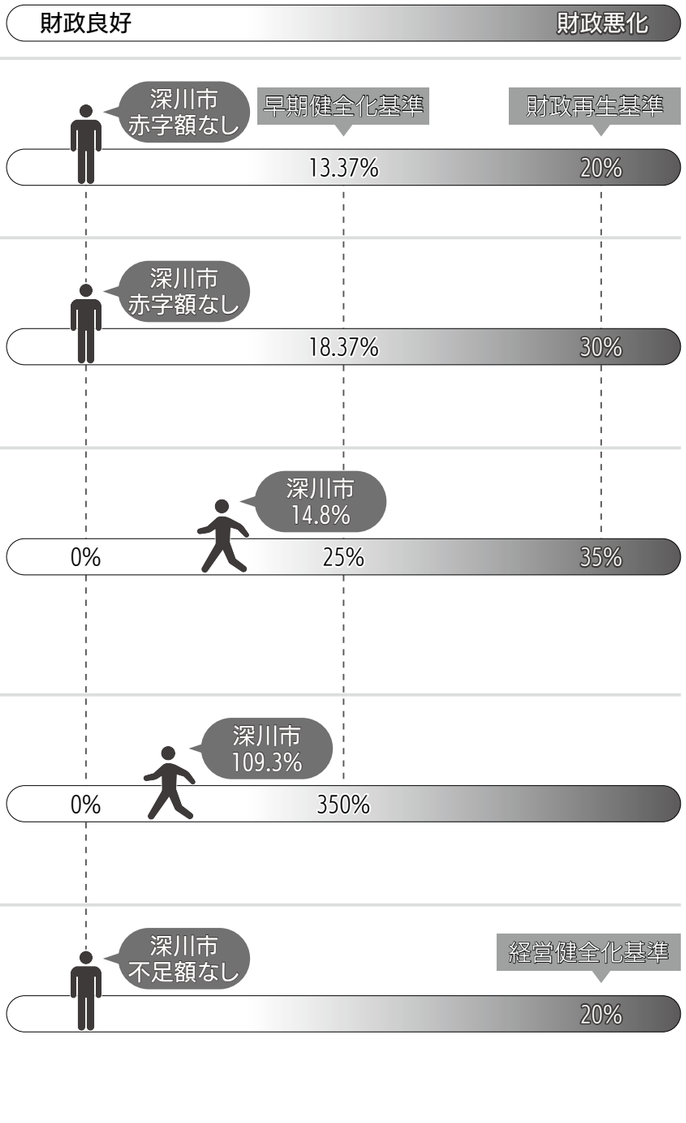
※予算額には令和7年度からの繰越額を含みます。一時借入金はありません。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の健全化判断比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律では、自治体は4つの健全化判断比率と公営企業ごとの資金不足比率を公表し、これらの比率が健全化基準を上回った場合、健全化計画の策定が義務付けられています。

本市の令和7年度決算の健全化判断比率および資金不足比率は、下表のとおりいずれも早期健全化基準を下回っています。

※財政の健全性を示す5つの指標



実質赤字比率

一般会計などの赤字額を標準的な一般財源（標準財政規模）で割ったもので、一般会計などの赤字額の割合を示す指標。

連結実質赤字比率

一般会計、特別会計、公営企業会計の赤字額の合計を標準的な一般財源（標準財政規模）で割ったもので、市全体の赤字額の割合を示す指標。

実質公債費比率

自治体の標準的な一般財源（標準財政規模）に対する借入金の返済額などを表す指標。自治体の自由に使えるお金が、借入金の返済にどの程度使われているかを示すもので、割合が高ければ自由に使えるお金が少ないことを示す指標。

将来負担比率

一般会計、特別会計、公営企業会計に、一部事務組合・広域連合、公社・第3セクターを含め将来負担しなければならない全体像を示す指標。

資金不足比率

市立病院や水道事業などの公営企業に適用する指標。資金不足は、1年以内に支払いを要する費用から手持ちの現金や預金を差し引いたもので、足りない場合に資金が不足することになります。

健全化判断比率の全道の状況

▲下記の数値は、速報値のため、今後変更となる場合があります。

▼実質公債費比率の高い市町村

1	2	3	4	5
夕張市	寿都町	木古内町	網走市	深川市
67.5%	15.6%	15.5%	15.4%	14.8%

※地方債の発行が許可制となる18%以上の市町村は、道内179市町村のうち1市。

▼将来負担比率の高い市町村

1	2	3	4	5
北見市	網走市	南幌町	神恵内村	深川市
134.1%	129.4%	124.5%	116.3%	109.3%

※早期健全化基準の350%を超える市町村は、道内179市町村のうち0市。

病院事業会計

令和7年度事業の概要

病院事業は、IQ（医療の質の向上）委員会による収支改善および「深川市立病院経営強化プラン」の実行に努めました。

入院の延べ患者数は前年度比5.4％の増、収益は1億1,538万円の増、外来の延べ患者数は前年度比0.7％の減、収益は2,063万円の増となりました。資金不足額は、昨年度に引き続き、発生しませんでした。

- **病床数**　195床（実稼働183床）
- **患者数**　入院　延べ　55,093人（一日平均150.9人）
　　外来　延べ　115,121人（一日平均475.7人）

令和7年度決算の状況

収益的収支で4億7,770万円の純損失が生じ、前年度繰越欠損金96億7,260万円と合算し、101億5,030万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。



収益的収支決算額

収入	47億1,557万円
支出	51億9,327万円
差引	▲ 4億7,770万円

資本的収支決算額

収入	5億　861万円
支出	7億3,947万円
差引	▲ 2億3,086万円

令和8年度予算の執行状況（8月31日現在）

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	47億7,156万円	17億　763万円	35.8％
支出	51億5,049万円	15億5,841万円	30.3％

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	15億9,724万円	425万円	0.3％
支出	18億4,010万円	3,531万円	1.9％

下水道事業会計

令和7年度事業の概況

ストックマネジメント計画に基づく深川浄化センターの更新工事や下水道管渠（かんきょ）の整備を進めるとともに、施設の効率的活用に努めました。

※ストックマネジメント計画とは、施設の健全度や重要度を考慮した効果的な点検・調査を実施し、安全性を確保するために適切な維持修繕・改築などを計画的かつ効率的に行うための計画です。

- **処理区域内人口**　16,890人（市民全体の96％）
- **水洗便所設置済人口**　16,337人
- **年間汚水総処理水量**　224万4,844㎥
　（一日平均6,150㎥）

令和7年度決算の状況

収益的収支で4,915万円の純損失が生じ、前年度繰越欠損金1億4,808万円と合算し、1億9,723万円を未処理欠損金として翌年度へ繰り越しました。また、資本的収支の不足分は、過年度分損益勘定留保資金1億1,235万円および当年度損益勘定留保資金1億8,844万円で補てんしました。

収益的収支決算額

収入	8億6,268万円
支出	9億1,183万円
差引	▲ 4,915万円

資本的収支決算額

収入	7億　578万円
支出	10億　657万円
差引	▲ 3億　79万円

令和8年度予算の執行状況（8月31日現在）

収益的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	9億3,340万円	1億6,288万円	17.5％
支出	9億9,890万円	8,292万円	8.3％

資本的収支

	予算額	執行額	執行率
収入	2億5,360万円	686万円	2.7％
支出	5億9,130万円	36万円	0.1％

※決算額に消費税および地方消費税は含みませんが、執行状況は税込額となっています。

用語解説

- **収益的収支**
　事業の経営に係る収入と支出で、水道事業では、水道料金や一般会計からの繰入金などの収入と、北空知広域水道企業団からの水の購入代金や維持管理費などの支出で構成されています。病院事業では、診療収入や一般会計からの繰入金などの収入と、人件費や材料費、維持管理費などの支出で構成されています。
- **資本的収支**
　経営基盤強化など、事業の投資に係る収入と支出で、収入は国・道補助金や企業債などで、支出は施設・設備の拡張・改良工事費や企業債の元金償還金などで構成されています。
- **損益勘定留保資金**
　収益的収支の経費のうち、減価償却費など現金支出を伴わない費用の合計額をいいます。内部留保資金として、別途使うことができます。なお、その発生時期によって、当年度と過年度に分けられます。

